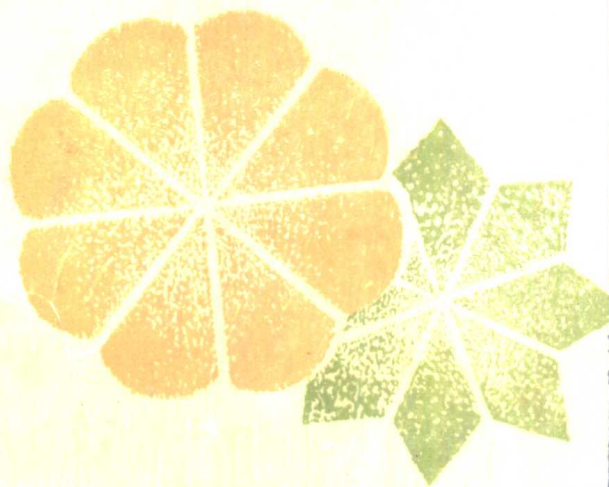


日汉成语谚语词典



王永升
赵苍率 主编



日汉成语谚语词典

王永升 赵苍率 主编

上海译文出版社

日汉成语谚语词典

王永升 赵苍率 主编

上海译文出版社出版发行

上海延安中路 955 弄 14 号

全国新华书店经销

上海译文印刷厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 17 字数 354,000

1989 年 1 月第 1 版 1989 年 1 月第 1 次印刷

印数: 0,001—8,000 册

ISBN7-5327-0335-5/Z·014

定价: 6.15 元

前 言

日语的成语、谚语和汉语的成语、谚语一样，数量众多，内容相当丰富。它们或是言简意赅地道出了具有一定内涵的哲理和思想，或是通俗而形象地反映出各个时代人民的生活经验和愿望。其中有一部分或直接引自我国的四字成语，或在此基础上逐步演变而来。其表现形式有教诲，也有比喻，有诙谐，也有讥讽。总之，它们是从各个不同时代的经验积累中浓缩、提炼出来的产物。

这些成语、谚语经常出现在日本的文艺作品和日常生活中。它们不仅使人们感到妙趣横生、浮想联翩，还可以借此在一定程度上了解各个时代日本人民的习俗和风尚，对于进一步了解日本人民的民族文化不无裨益。

我们通过多年来的教学实践，收集和积累了大量资料，并参考了铃木棠三、广田荣太郎合编的《故事ことわざ辞典》、白田甚五郎主编的《ことわざ辞典》、佐藤务编的《新编ことわざ辞典》、折井英治编的《暮らしの中のことわざ辞典》、高桥源一郎编的《故事成语谚语辞典》、日本小学馆出版的《国语大辞典》、诸桥辙次编的《大汉和辞典》，以及汉语的《辞源》和汉语成语词典一类的有关书籍，从大量的成语、谚语中精选了8000条左右，连同参考条目，约近万条，编写成这部词典。

在条目的汉译方面，则尽量在保持原文条目含意的基础上，力求借用汉语中相应的成语、谚语、格言、名句和歇后语，以及我国人民习用的这类表达形式。总之，因词制宜，不

拘一格，在理解原文条目的基础上，采取相对灵活和概括性的译法。

书中除原文条目和汉译外，有些原文条目另加有参考条目，列出二、三与原文条目含意相同或类似的主要条目，以供不同层次的读者使用。

鉴于日语的成语、谚语中有些直接引用了汉语的四字成语（指日语采用音读的四字成语，如：“一举两得”、“汗牛充栋”等），这些对我国读者来说，并不难理解，故未予收录。

在编写过程中，得到了有关领导的热情支持，陈其邦、李长寿、王毓歧、张仁平等同志为我们提供了大量资料，并参加了部分编写工作，谨致谢忱。

本书的编写历时五年余，其间对某些条目的汉译虽经反复推敲，再三斟酌，最后又由赵苍率做了总的校对，但限于编者水平，仍难免有不当和谬误之处，尚希读者批评指正。

编 者

一九八八年十一月

あ

あ言え^いばこう言う

胡搅蛮缠，硬唱反调。

参：山と言え^いば川。右と言え^いば左。どう言うやこう言う。

あいえんき えん
合縁奇縁

奇巧姻缘，天作之合。

参：合性奇縁。何事も縁。縁は異なるもの味なもの。

あいおほ もの すなわ ほうた
愛多^{あいおほ}き者は則ち法立たず

爱多者则法不立，重情枉法。

あいおくう およ
愛屋^{あいおくう}烏に及ぶ

爱屋及乌。

参：其の人を愛する者は屋上の烏を兼ねその人を憎む者は其の余胥を悪む。坊主憎くけりや袈沙まで憎い。

ふい おお ちぎり うす
間^{ふい}が遠なりや契が薄^{ちぎり}い

相离远，情份减，去者日疏。

参：去る者は日々に疎し。縁が遠けりや契が薄い。速くなれば薄くなる。

あいぐち つば
七首^{あいぐち}に鐺

七首加护手，不配，驴唇不对马嘴。

参：小刀に鐺。

あいけん て か
愛犬^{あいけん}に手を噛まれる

爱犬咬手，恩将仇报。

参：飼犬に手を噛まれる。飼犬に足を食われる。

あいご せいもく
相碁^{あいご}井目

人有贤愚，艺有高低。

あいさつ とき うじがみ
挨拶^{あいさつ}は時の氏神

和事佬来得巧。

参：仲裁は時の氏神。仲人は時にとっての氏神。地獄で仏。

あいさつ えんさつ
挨拶^{あいさつ}より円札

好话不如现钞，賒三不敌见二。

参：心中より饅頭。義理張るより煩張る。某よりも金貸しがよい。

あいずち う
相槌^{あいずち}を打つ

随声附和，打帮腔。

あいそ かね び
愛想^{あいそ}づかしも金から起きる

财了缘分尽，无钱不夫妻。

参：金の切れ目が縁の切れ目。夫婦喧嘩も無いから起こる。

愛想も小想も尽き果てる 讨厌之至；毫无留恋。

参：愛想が尽きる。愛想を尽くす。

逢いたいが情見たいが病 望眼欲穿；心向往之。

参：逢いたい見たさは恋のとか。一日逢わねば千秋。

相対の事はこちゃ知らぬ

秃子打賭，和尚不知；与我无关。

あいた口が塞がらぬ 张口结舌。

開いた口には戸はたたぬ 人口难封；人言可畏。

参：下種の口に戸は立てられぬ。

開いた口へ牡丹餅 有福不用忙；福自天降。

参：開いた口へ団子。寝耳へ小判。あんころ餅で尻をたたかれるよう。

あいだてないは祖母育ち 祖母育儿无规矩。

相手かわれど主かわらず

以不变应万变；他有千条妙计，我有一定之规。

相手のさする功名 侥幸成功；意外取胜。

参：怪我の功名。過ちの功名。怪我勝ち。

相手の無い喧嘩はできぬ 一个巴掌拍不响；孤掌难鸣。

参：一人喧嘩はならぬ。相手なければ訴訟なし。気遣いも一人は狂わぬ。

相手見てからの喧嘩 虚张声势；欺软怕硬。

参：敵が逃げるとだれでも強くなる。犬の遠吠え。

愛に愛持つ 和蔼可亲；和颜悦色。

愛は小出しにせよ 爱要长流不宜狂。

参：熱愛は冷めやすい。どか惚れのどか飽き。

愛は憎惡の始め

愛为憎之始。

逢い戻りは鴨の味

破镜重圆情更绵。

参：従兄弟同志は鴨の味。

逢うは別れの始め

合者离之始。

参：逢うは別れのもと。合せ物は離れ物。逢うは別れ。

合うも不思議合わぬも不思議

做梦爻卦，难说真假。

参：当たるも八卦当たらぬも八卦。

逢えば五厘の損がいく

无事不登三宝殿；逢人难免惹麻烦。

参：触り三百。触らぬ神に祟りなし。

仰いで唾をはく

仰天而唾；自食其果。

参：天に唾して己が面にかかる。寝て吐く唾は身にかかる。お天道様に石。

仰いで天に愧じず

仰不愧天。

参：俯して地に忤じず。俯仰天地に愧じず。

青柿が熟柿吊う

五十歩笑百歩；推人及己。

参：うみ柿が熟柿を吊う。人の事は我が事。昨日は人の上今日は我が上。

青田から飯になるまで水かけん

青苗变成饭，全靠水浇灌。

青竹を割ったよう

竹筒倒豆子，直话直说。

青だたみを敷いたよう

风平浪静；海不扬波。

青田ほめらば馬鹿ほめれ

青苗虽好，收成难保。

参：子供と青田はほめられぬ。十で神童十五で才子二十過れば只の人。

青菜に塩

如青菜加盐，萎靡不振。

参：青菜を湯につけたよう。蛞蝓に塩。

あお あい い あい あお
青は藍より出でて藍より青し

青出于蓝而胜于蓝。

参：出藍の譽れ。紺は藍より出でて藍より濃し。藍より青し。

あおば め くすり
青葉は目の薬

新绿益目；看青养睛。

あわびようし かなに もの
青麦紙を叩いた者にはかなわぬ

学问好难不倒；秀才不怕考。

あおゆうや おおかけ
青夕焼けは大風となる

夕照变青，必有大风。

あかいぬ うつね ね
赤犬が狐を追う

黄狗追狐狸，真假难分；是非难辨。

あか ざけ
赤きは酒のとが

脸红怨酒烈，我是老好人。

参：赤きは酒のとがぞかし、鬼とは思し召されそ。

あかこ ななくにななさと もの に
赤子のうちは七国七里の者に似る

婴儿未定形，谁看象谁。

赤子の手をひねる

轻而易举。

参：赤子の手をねじる。

な そだ
赤子は泣き泣き育つ

好哭婴儿长得壮。

参：泣く子は育つ。

はだか
赤子を裸にしたよう

身处绝境；孤立无援。

参：赤子を裸にする。

あかざ あつもの
藜の羹

粗茶淡饭。

あかつき しらくも きゆう ち おおかけ
暁の白雲が急に散れば大風

拂晓白云散，必是大风天。

あ さんだい
上がって三代下がって三代

亲不亲，看三代。

あか く し
垢に食われても死にはせぬ

不干不净，吃了没病。

垢はこするほど出る、あらは探すほど出る

汗泥搓不尽，缺点揭不完。

参：叩けば埃が出る。

あか つき よ おも
明るけりゃ月夜だと思ふ

知其一不知其二。

参：馬鹿の一つ覚え。団子さえ食べば彼岸だと思う。

あか あら あと もと
垢を洗って痕を求む

洗垢求瘢。

参：毛を吹いて疵を求む。藪をつついて蛇を出す。

あきあ はんさく
秋荒れ半作

秋天风雨乱，收成减一半。

参：秋日和半作。

あきかぜ よ
秋風が吹く

情淡意冷。

参：秋風が立つ。

ふうふ けんか ひ い や
秋風と夫婦喧嘩は日が入りゃ止む

秋风呼号到日落，夫妻吵架不过夜。

参：夫婦喧嘩と北風は夜風がする。

すすき ほ
秋風に薄の穂

狗尾草随风倒。

あきか ます よめ く
秋梭魚は嫁に食わすな

秋后梭鱼香，媳婦不得尝。

参：秋茄子嫁に食わすな。五月蕨は嫁に食わせるな。

あきかり はや わた ほうきく
秋雁が早く渡ると豊作

秋雁早归，粮食成堆。

さば さしひ くすり
秋鯖の刺身にあたると薬がない

秋食生鯖鱼，中毒无药医。

あきたか うまこ
秋高く馬肥ゆ

秋高马肥；秋高气爽。

参：天高く馬肥ゆ。

あきだな
明店のえびす

有客无客笑脸常在。

あきだる おと たか
空樽は音が高い

空桶响声大；一瓶不响半瓶荡。

参：浅瀬に仇浪。食いつく犬は吠えつかぬ。

あきたんば ぼ さ とし ゆき あさ
秋蒲公英の咲く年は雪が浅い

苦菜秋开花，冬季雪不大。

あきな さんねん
商い三年

经商先耐三年苦。

参：顎振り三年。売出し三年。石の上にも三年。

あきな じようず し い べ た 会卖不如会买；生意好靠进货巧。

商いは牛の涎 做生意，靠耐性。

商いは数でこなせ 薄利多销。

参：薄利多売。

商いは門門 卖货应巧；看人供货。

参：商売は門々。商売は道によりて賢し。芸は道によって賢し。

商いは草の種 生意繁多，五行八作。

商いは正直が第一 商以信为先。

商いは本にあり 多财善贾；无本难求利。

商 屋は古いがよい 店是老的好。

秋茄子嫁に食わすな 秋后甜茄子，不给媳妇吃。

参：秋梭魚は嫁に食わすな。夏鰯嫁に食わすな。

秋になればほいと腹になる 秋后食欲増；夏枯抢秋膘。

秋の雨が降れば猫の顔が三尺になる 秋天雨猫儿喜。

参：冬の雨が降れば猫の顔が三尺のびる。

秋の鰻魚と娘の粗は見えぬ 二八年华不见瑕。

秋の一日千日 秋收一日赛千天。

秋の入日と年寄はだんだん落目が早くなる

秋来白昼短，老来时运减。

秋の扇 秋扇见捐。

参：班女の扇。班婕妤が团雪の扇。秋田の落し水。

秋の鹿は笛に寄る 馋猫不避腥，秋鹿不辨音。

参：笛に寄る鹿は妻を恋う。妻恋う鹿は笛に寄る。笛に寄る秋の鹿ははかなき。契りに命を失う。

そら ななたびはんか
秋の空は七度半変わる

秋令善变,人情易淡。

参: 秋の空。男心と秋の空。

ひ むすめ こ
秋の日と娘の子はくれぬようでくれる

秋日落山快,少女出嫁急。

参: 春の日と継母はくれそうでくれぬ。

ひ つるべ おと
秋の日は釣瓶落し

秋天日落急。

参: 秋の日の鉈落し。

ゆうや かま あさで となり ゆ
秋の夕焼け鎌をとげ秋の朝照り隣へ行くな

朝霞不出门,晚霞行千里。

はや くま さと で おおゆき
秋早く熊が里に出ると大雪

秋熊早进村,大雪必封门。

参: 雉子が秋早く田畑にくる年は大雪。

ひ がん て ほうねん
秋彼岸の照りは豊年

秋分晴,好收成。

あきび よりはんさく
秋日和半作

秋天好,收成保。

参: 秋場半作。秋荒れ半作。

あきもの いれもの
空物は容物

虚己以听。

あきや こえか
空家で声囁らす

吃力不讨好。

参: 空家で棒振る。楽屋で声を囁らす。陰の舞の奉公。

せつちん
空家の雷隠でこえなし

吃了闭门羹。

あきら こころ ようじよう
諦めは心の養生

心宽体胖。

参: 出る月を待つべし、花の散るを悔やむなかれ。

あきわ さん か じ
秋葉山から火事

消防队失火,枉己正人; 名门出逆子。

参: 火消の家にも火事。

あきんど びようぶ まが た
商人と屏風は曲らねば立たぬ

屏风展平难站立,商人正直不赚钱。

参: 商人と屏風は直ぐには立たぬ。商人と屏風はゆがまねば立たず。

あんど けいず な 商人に糸図無し 经商有道，不问身世。

う そ かみ お ゆる 商人の虚言は神も御許し 为商说谎，神仙默许。

こ そろばん おと め 商人の子は算盤の音で目をさます 耳濡目染。

参：武士は轡の音で目をさます。乞食の子は茶碗の音で目をさます。

そらせいもん 商人の空誓文 商家誓言不可信。

そらね 商人の空值 商人无实价。

参：商人の元値。

かね あたま き 商人は金に頭を下げる 商人有一怕，见钱就跪下。

参：一文高の世の中。

こ は にしき かざ 商人は木の葉も錦に飾る 商人刁，商人刁，败絮填锦袍。
そん もと く 商人は損と原価で暮らす

生意经口上带：原价出售，蚀本贱卖。

参：商人の元値。

そん は くら た 商人は損をしていつか倉が建つ

口上频频蚀本经，店里悄悄建新仓。

参：商人の空誓文。

はら う きやく した は 商人は腹を売り客は下より這う

讨价还价；漫天要价，就地还钱。

や した 商人は矢の下くぐれ 商人发财不怕险；要钱不要命。
あくえんちぎ ふか 悪縁契り深し 孽缘难分。

参：腐れ縁は離れず。悪女の深情。

あくごう みようか 悪業の猛火 一恶毁前功。

あくさい いえ は めつ 悪妻は家の破滅 悍妻泼妇，败家破产。

参：恶妻にまさる不幸なし。

悪妻ひやくねん よ さくは百年の不作

妻子如不賢，倒霉到百年。

参：悪妻は六十年の不作。悪妻は一生の不作。

悪事あくじ せんり はし千里を走る

好事不出門，坏事行千里。

参：悪事千里を行く。隠す事千里。悪いしらせは翼を持つ。

悪事み身にかえる

惡有惡報；害人反害己。

参：身から出た錆。天に唾す。人を呪わば穴二つ。

悪獸あくじゆ なおそ るい おもも猶其の類を思ふ

惡兽犹思其类；虎毒不吃子。

悪女あくじよ けんじやの賢者ぶり

狠心女子菩薩面。

悪女ふかなさけの深情

东施偏多情；盛情难领。

悪女かがみ うとは鏡を疎む

丑女怕照鏡，姪子怕说矮。

参：悪女は鏡を恐る。

悪銭あくせんみ身につかず

横財不富；悖入悖出。

参：人垢は身につかぬ。あぶく銭は身につかぬ。

あくちも切れぬ

乳臭未干；年幼无知。

悪あく つよ ぜんに強ければ善にも強し

為惡甚者，从善亦篤。

参：悪に強きは善の種。毒藥變じて良藥となる。

悪人あくにん ぜんにん あらわあればこそ善人も顯れる

因惡显善。

参：下手があるので上手が知れる。馬鹿があつて利口が引き立つ。

悪人ともおおには友多し

同惡相求；狐群狗党。

参：癩者は癩者の友をほしがる。

悪人にほめられるより善人われに笑われよ

宁遭好人笑，不受坏人夸。

参：惡友の笑顔より善友の怒り顔。

悪人とも す てき まねの友を捨てて善人の敵を招け

惡人成友应舍弃，善人为敌当款待。

悪人は畳の上では死なれぬ

恶人无善终。

参：悪人は刀の試し物。

悪の裏は善

苦尽甘来；祸兮福所倚。

参：一の裏は六。いい事があれば悪い事がある。善の裏は悪。

灰汁の下汁も捨て場所がある

物尽其用。

悪の報いは針の先

为恶不爽。

参：因果は皿のふち。

悪の易きや火の原を焼くが如し

恶之易也如火燎原；从恶如崩。

悪は一旦の事なり

恶逞一瞬间。

悪は延べよ

从善如流，从恶宜缓。

参：善は急げ、悪は延べよ。

悪木盗泉

不饮盗泉水，不憩恶木荫。

参：渴しても盗泉の水を飲まず。悪木の蔭に憩わず。

悪友の笑顔より善友の怒り顔

宁受好人气，不讨坏人欢。

安坐で川

坐享其成。

悪を好めば妖あり

作恶招灾。

参：積悪の余殃。

餓を知らぬ鷹は爪を割く

贪嘴秃鹰必伤爪；贪必伤身。

参：欲すりゃ損する。欲の熊鷹股裂くる。

悪をすれば淵に入る

作恶多端，必坠深渊。

参：恶事身にかえる。自業自得。

挙足を取る

找碴钻空；乘虚而入。

あけて数うべからず

数不胜数。

あ くや たまて ばこ
開けて悔しき玉手箱

大失所望。

参：開けて見たれば鳥の糞。

あ とお こえかた
開けて通せよ肥担ぎ

芝兰不入鲍鱼肆。

参：君子は危うきに近寄らず。

あ はな こんじよう
開け放しの根性よし

心口如一；心直口快。

参：根性悪のむだ口かず。

あ こぎ うら ひ あみ
阿漕が浦に引く網

偷猎必败，屡犯必露。

参：逢うことを阿漕の島に引く網の度重ならば人も知りなむ。

あこ せ なか か
顎で背中を搔く

无能为力；鞭长莫及。

あこ はえ お
顎で蠅を追う

无吹灰之力。

参：顎で蠅を追う。火を吹く力もない。

ふ さんねん
顎振り三年

要练真本事，得下苦功夫。

参：首振り三年。櫓は三年櫓は三月。

あさあきな ふく よ
朝商いは福を呼ぶ

早市大吉。

あさあめうま くら お
朝雨馬に鞍を置け

晨雨可为马备鞍，远行不必把心担。

参：朝雨は日照りのもと。

あさ かさ
朝雨に傘いらす

晨雨短，不带伞。

参：朝雨に蓑笠いらす。卯の時雨に笠をやけ。

あさ おんな うで
朝雨は女の腕まくり

开门雨，饭后晴。

参：俄雨と女の腕まくり。朝雨ばくち裸のもと。

あさ はれ
朝雨は晴のきざし

晨雨兆天晴。

参：朝雨はその日のうちに晴れる。朝曇り日照りのもと。

あさ こと ばん
朝ある事は晩にある

有其一必有其二。

参：一度ある事は二度ある。ある事きっと。

あさ かわ ふか わた
浅い川も深く渡れ

浅川須作深水渡；慎之又慎。

参：用心は深くして川は浅く渡れ。石橋を叩いて渡る。

あさうたい びんぼう そろ
朝謡は貧乏の相

游手好闲，吃苦在前。

参：乞食の朝謡。朝歌貧乏。願ひ事があれば朝唄を歌うな。

あさおき さんもん とく
朝起き三文の徳

早起三分利。

参：朝起き七つの徳あり。朝起き千両。宵寝朝起き長者のもと。

けんやくご りょう
朝起き三両俵約五両

勤儉起家。

参：朝起き三両始末五両。

せんりようよ お ひやくりよう
朝起き千両 夜起き百両

起早动手，事半功倍。

参：朝の一時は晩の二時に当る。朝起きは三文の徳長起きは三百の損。

いえ ふくき
朝起きの家には福来たる

黎明即起万事吉。

参：朝起きは富貴のもと。

あさがお はなひとつ
朝顔の花一時

昙花一现；好景不常。

参：槿花一日の栄。槿花一朝。

あさが だ ちん
朝駆けの駄賃

轻而易举。

参：行きがけの駄賃。

かみなり かわわた
朝雷に川渡りすな

晨雷响，河水涨。

参：朝雷に戸開けず。

となりある
朝雷に隣 歩きすな

朝打雷，不出门。

参：朝雷には隣の歩きもできぬ。

がゆ ながの れん
朝粥かくしの長暖簾

打肿脸充胖子；硬撑门面。

あさ め はた
麻がらに目鼻つけたよう

骨瘦如柴。

参：箸に目鼻。

あさぎり あめゆうぎり はれ
朝霧は雨夕霧は晴

朝雾化雨，晚雾转晴。

参：朝霧なければ晴天。

はれ
朝霧は晴

朝雾转晴天。

参：朝霧深きは晴天のきざし。